

トピックス **ぶらす**

9/25

**長沼川環境美化に向けて**

河川環境美化とごみの不法投棄を防止しようと、迫町建設業協会（渡辺光悦会長）による河川の除草作業が9月25日、迫町佐沼地内を流れる長沼川で行われました。この奉仕作業は、20年以上前から同協会により毎年行われており、今後は町内全域を対象としたガードレールやカーブミラーなどの清掃奉仕を予定しているそうです。



▲河川の除草作業に汗を流す迫町建設業協会の皆さん

10/11～12

**市内の個人・団体が芸能を披露**

6月の展示発表の部に続き、第2回登米市民文化祭【ステージの部】（登米市文化協会主催）が10月11、12日の2日間、登米祝祭劇場で開催されました。文化芸能の指導を受けている子どもたちや市内の各文化団体など、両日合わせて40の個人・団体が出演。創作太鼓や舞踊、神楽などが披露され、各演目ごとに大きな拍手が送られていました。



▲子どもたちによる民謡や三味線も披露されました

10/15

**台湾からの善意が登米市に**

「台湾大地震の際には日本から多くの援助を受けた。大きな地震が起こったと聞いたので、日本へ恩返しをしたい」と、台湾の台北西門ロータリークラブから姉妹協定を結んでいる佐沼ロータリークラブを通じ、10月15日に市に寄付金が寄贈されました。当日は伊藤会長ら関係者が市役所迫庁舎を訪れ、市長に寄付金とメッセージを手渡しました。



▲「防災事業の一助に」と寄付金を渡す伊藤会長

10/19

**お目当ての商品を求め大勢が来場**

東北最大級を誇る第12回佐沼秋のフリーマーケット（佐沼中央商店会主催）が10月19日、中江中央公園で行われました。公園や市役所周辺の駐車場などを会場にした広大な販売エリアには、約650店のさまざまなブースが出展され、衣類や雑貨などが販売されました。訪れた人たちは掘り出し物やお宝商品を購入し、秋晴れの日を楽しみました。



▲大勢の来場者が訪れたフリーマーケット

**手づくりのかかしが勢ぞろい**

迫で豊年かかしまつり

豊年かかしまつりが10月12日、佐沼大通り商店街で開催され、市内の事業所や子ども会、社会福祉施設などから100体を超えるかかしが出品されました。これは、実りの秋に合わせ、かかしによる町おこしと商店街の活性化を目的として開催され、今年で3年目を迎えました。当日は、かかしの展示のほか、空き倉庫を利用した「七福にぎわい市」や軽トラックの荷台をそのまま店舗にした「軽トラ市」などが開かれ、野菜やはっとなどの地場産品、三陸の魚介類などを求め、大勢の見物客でにぎわいました。



▲さまざまなかかしが展示され、多くの来場者でにぎわいました



▲道行くドライバー一人一人に交通安全を呼び掛けました

**大きなサツマイモが取れたよ**

中田で親子さつまいも収穫祭

親子さつまいも収穫祭（浅水コミュニティ運営協議会主催）が10月11日、浅水ふれあい農村公園で開催され、6月に苗を植えた300本のサツマイモを収穫しようと、浅水地区の親子など約60人が参加しました。畑では、大きい芋が現れるたびに「おっきい〜」と歓声が上がっていました。収穫したサツマイモは、その場で焼き芋にしました。また、当日はサツマイモの収穫のほかにウイナーづくりも体験し、できたてのウイナーと熱々の焼き芋を食べ、食欲の秋を満喫した一日となりました。



▲なかなか抜けなくて苦戦しましたが、みんなで協力して収穫しました